

基本理念	主なライフステージ	基本的方向性	取組事項	主な施策 ★は新規・拡充・強化するもの
自らの可能性を拓き、未来を切り拓く 熊本の人づくり	幼児期	①家庭・地域の教育力の向上	1 家庭の教育力の向上 2 地域の教育力の向上 3 就学前教育の充実と小学校以降の教育との連携強化	○「くまもと家庭教育支援条例」の周知・啓発 ★「親の学び」の推進 ★家庭教育支援員の配置 ★地域と学校の連携・協働 ★子供の居場所づくりの推進 ★社会教育人材の養成・活躍機会拡充 ○幼児教育、保育・子育て支援の充実
	青少年期（小学校～高等学校）	②安全・安心に過ごせる学校づくり	4 人権教育の充実 5 いじめへの対応 6 不登校への対応 7 学校の防災・安全対策の推進	○人権教育の推進（推進体制の機能強化と研修の充実、指導方法等の工夫・改善） ○いじめの未然防止といじめ事案への適切な対応の充実 ○SC、SSWの配置 ○スクールロイヤーの活用 ★1人1台端末等を活用した生徒の心や体調の変化を把握する取組及び教育相談体制の更なる充実 ○不登校の未然防止・初期対応・自立支援の充実 ★不登校児童生徒の学びの場の確保の推進 ○「愛の1・2・3運動+1」の実施 ○防災教育・防災管理の充実 ○学校内等での安全対策の充実 ★登下校中の交通安全等の推進
		③確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	8 確かな学力の育成 9 豊かな心を育む教育の充実 10 健やかな体の育成 11 社会の変化に対応した教育の推進	★学力向上に向けた取組（「熊本の学び」の推進等） ★誰一人取り残さない学びの保障 ★学びを最大限に引き出す指導力の向上 ○「熊本県学力・学習状況調査」の分析・活用 ○探究的な学びの充実 ★1人1台端末の更なる活用促進 ★教育課程に関する研究協議会 ○道徳教育の推進 ○地域の伝統文化に触れ、体験する機会の提供 ○学校体育の充実 ○健康教育の推進及び学校給食の充実を通じた指導 ○主権者教育、情報教育、消費者教育、環境教育、金融教育等の推進
		④障がいや多様な教育的ニーズに応える	12 特別支援教育の充実 13 県立特別支援学校の教育環境整備 14 多様なニーズに対応したインクルーシブな教育	★「学びのものさし（誰もが特別な教育的ニーズを的確に把握し、適正に学びの場の検討を行うための共通の考え方）」の普及・運用 ○個別の教育支援計画の引継の徹底 ○キャリア教育の充実 ○就労支援の強化 ○障がいに対する理解の推進 ★教育環境改善の推進 ★外国人児童生徒の教育機会の確保 ★日本語指導の充実
		⑤産業人材、グローバル人材の育成	15 産業人材の育成とキャリア教育の充実 16 外国語教育、国際教育の充実 17 優れた才能や個性を伸ばす教育 18 ふるさとを愛する心の醸成 19 高等教育の振興・連携	★産業界・地域と連携したキャリア教育の充実 ★半導体人材育成 ○キャリアサポーター、しごとコーディネーターによる県内就職支援 ★移住定住の推進のための取組 ★英語教育の充実（ALTの活用や英語外部検定試験への支援、英語による発信力強化等） ★国際交流の推進 ★高校生の海外進学・留学促進 ★グローバル人材の育成 ★国際的な教育を提供する私立学校への支援 ★国際バカロレアの導入に向けた準備及び円滑な導入（R6～八代中MYP、R9～八代高DP導入予定） ○「熊本スーパーハイスクール構想」の推進 ○STEAM教育等の教科横断的な学びの推進 ○スポーツ・文化芸術分野で活躍する人材の育成 ○地域の伝統文化に触れ、体験する機会の提供 ○大学との連携強化
		⑥魅力ある学校づくり	20 県立高等学校の魅力化の推進 21 学びを支える施設の整備 22 地域とともにある学校づくり 23 私立学校の特色ある振興	★令和7年度以降の県立高校のあり方に関する基本方針策定及び同方針に基づく取組の推進 ★特色ある学科の設置・改編 ★五木分校魅力向上支援 ★地域と一体となった高校魅力化の推進 ★県立高校の寮のあり方検討（寮の環境の改善及び管理人制度・民間委託の導入） ○複数校連携した遠隔授業の実施 ★県立学校施設長寿命化プランに基づく老朽化対策の推進 ★学校部活動の地域移行（運動部活動・文化部活動） ○各種補助による私立学校の特色ある学校づくりへの支援
	共通	⑦子供たちの学びを支える環境づくり	24 貧困の連鎖を教育で断つ 25 教職員の人材確保、人材育成 26 教職員の働き方改革の推進 27 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	○生活保護世帯・生活困窮世帯やひとり親家庭の子供等に対する支援 ★大学・民間企業等との連携・協働による教職志望者の発掘 ★教職員の研修履歴を活用した人材育成 ★教育センターの整備 ★ワーク・ライフ・バランスを実現できる環境の実現（働き方改革の更なる加速化、ライフスタイルに応じた多様な働き方の選択） ★校務のDX化 ★学校現場における事務処理の集中化・効率化 ★多様な支援スタッフの確保・活用 ★1人1台端末の更なる活用促進
		⑧文化・スポーツの振興と生涯学習の推進	28 文化に親しむ環境づくり 29 文化財の保存・活用 30 県民のスポーツの振興 31 競技スポーツの振興 32 学習機会と学習成果活用の充実	○地域の伝統文化に触れ、体験する機会の提供 ★文化財に関する出前授業の充実・強化 ★県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」の充実 ★競技力の強化・向上 ★生涯学習の推進 ★青少年教育施設と連携した多文化交流の推進 ★こども図書館を核とした多様な体験交流機会の提供
		⑨災害からの復旧・復興	33 災害からの復旧・復興	★被災文化財の復旧支援（熊本地震・7月豪雨）
		⑩子供からの意見聴取・対話	34 子供からの意見聴取・対話	★1人1台端末を活用したアンケート調査の実施 ○高校生県議会